

CEM グローバル港湾水素連合 (CEM Global Ports Hydrogen Coalition) へ加入しました

本市では、地球温暖化対策の切り札として期待される水素に注目し、「水素スマートシティ神戸構想」を推進するほか、神戸港の脱炭素化を進めるため「カーボンニュートラルポート (CNP)」の取組みを進めています。

このたび神戸港は、CEM（クリーンエネルギー大臣会合）水素イニシアチブ（H2I）の一環として立ち上げられた「CEM グローバル港湾水素連合 (CEM Global Ports Hydrogen Coalition)」に加入しました。港湾や臨海部において、クリーン水素の供給と需要の拡大を加速させることを目的とした本連合への加入は、日本の港湾で初めてとなります。

本連合への加入を通じ、世界の港湾における水素活用の最新動向等を共有しながら、神戸港のカーボンニュートラルポート (CNP) の取組みを更に推進してまいります。

1. CEM グローバル港湾水素連合 (CEM Global Ports Hydrogen Coalition) への加入日

令和4年11月24日（木）

2. CEM グローバル港湾水素連合 (CEM Global Ports Hydrogen Coalition) とは

【事務局】

CEM H2I（クリーンエネルギー大臣会合 水素イニシアチブ）、IEA（国際エネルギー機関）

【目的】

CEM H2I（※下記を参照）に立ち上げられた組織で、港湾管理者や関連政府、国家機関その他ステークホルダーをメンバーとし、港湾や沿岸産業におけるクリーン水素の供給と需要の拡大を加速させること。

【参加メンバー】

- ・ 欧州や北米、中東などの港湾を中心に 49 港（2022 年 11 月時点）
- ・ 関連団体（国際港湾協会 (IAPH)、欧州港湾機構 (ESPO)、世界水素評議会など）

【活動内容】

定期的な会合やワークショップの開催を通じて、以下に関する項目の情報共有し、クリーンエネルギーへの移行と気候変動対策の取組みにおける港湾・沿岸産業の役割について認識を高める。

- ・ クリーン水素の供給と需要について
- ・ 水素又はその誘導體による船舶への燃料供給について
- ・ 輸出入に必要となる港湾施設の開発に関する優良な事例について
- ・ 港湾に関連する産業や地域において、新たにクリーン水素の供給を展開する際のイニシアチブについて
- ・ 水素関連施設およびそれらの開発や拡張の取組みについて
- ・ 発展途上港や小規模港へのクリーン水素の展開について

(HP) <https://www.iea.org/events/cem-global-ports-hydrogen-coalition>

3. クリーンエネルギー大臣会合（CEM）とは

クリーンエネルギーの世界的な普及・促進を目的に、米国の提案により 2009 年 COP15 で設立された国際的な閣僚級会合。北米、欧州、アジアの主要 28 カ国及び EU から構成され、世界のクリーンエネルギー技術の発展、利用を加速させるための政策について議論。

(HP) <https://www.iea.org/programmes/clean-energy-ministerial>



4. 水素イニシアチブ（H2I）とは

クリーンエネルギー大臣会合（CEM）に設置された様々なイニシアチブの1つであり、クリーン水素と燃料電池の普及と促進するための戦略的パートナーシップ。水素イニシアチブは 21 カ国及び EU が参加しており、このうちカナダ、オランダ、EU、日本、米国が共同リード国となり、議論を牽引。

(HP) <https://www.cleanenergyministerial.org/initiatives-campaigns/hydrogen-initiative/>

